



Hokkai-
Gakuen
University



第63回法学部カフェ

ウィーン1938年 最後の日々

Photo collection: NIOD, Amsterdam (Beeldbank WO2)

1938年、ナチス・ドイツによるオーストリア併合
「アンシュルス」。
その時、首都ウィーンでは何が起こっていたのか——。

話し手：高橋義彦（法学部教授・政治思想史）

聞き手：北原 博（法学部教授・ドイツ文学）

司 会：館田晶子（法学部教授・憲法学）

参加無料 予約不要

第63回法学部カフェは、戦間期オーストリアが舞台です。

ドイツからの政治的圧力が強まる中、政治家のみならず、芸術の都ウィーンに集う芸術家や文化人たちも決断を迫られていました。ある者はウィーンに残り、ある者はウィーンを去り、オーストリアはヒトラーの支配と解放を経験することになります。

緊迫した情勢の中、彼らはどのような運命をたどることになったのか。政治思想、民主主義、文化人の交流、様々な視点からアンシュルスを読み解きます。

高橋義彦『ウィーン 1938年 最後の日々』（慶應大学出版会・2024年）

令和6年度芸術選奨（評論部門）文部科学大臣新人賞 受賞

令和7年 6月28日（土）14:30～16:00

紀伊国屋書店札幌本店 sapporo55ビル1F
インナーガーデン

札幌市中央区北五条西5丁目7番地

お問合せ：北海学園大学法学部事務室

☎ 011-841-1161（代表）

